



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月29日

上場会社名 プラマテルズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2714 URL <https://www.plamatels.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸本 恭太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役・職能部門長 (氏名) 住友 宣明 (TEL) 03-5789-9700
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	30,086	△6.7	548	△6.0	513	△6.4	340	△7.4
2019年3月期第2四半期	32,243	11.8	583	0.2	548	△1.6	367	△1.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 213百万円(△32.2%) 2019年3月期第2四半期 314百万円(△49.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	39.86	—
2019年3月期第2四半期	43.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	26,256	10,440	39.8
2019年3月期	28,100	10,338	36.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 10,440百万円 2019年3月期 10,338百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	13.00	23.00
2020年3月期	—	11.00			
2020年3月期(予想)			—	12.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	△3.2	1,130	△8.4	1,070	△6.8	700	△4.1	81.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	8,550,000株	2019年3月期	8,550,000株
2020年3月期2Q	1,721株	2019年3月期	1,721株
2020年3月期2Q	8,548,279株	2019年3月期2Q	8,548,289株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)における世界経済は、米中貿易協議が一進一退を繰り返し、依然として着地点が見通せない状況の中、中東や朝鮮半島情勢における政治・安保上の緊張も高まり、不安定感を伴った下振れ傾向で推移しました。国内は、増税前の駆け込み需要の恩恵もあった個人消費や、特に省力化関連で伸びを見せた設備投資が堅調ながら、輸出は、情報機器関連向けに若干の下げ止まり感が見られるものの実質的な回復とまでは至らず、国内製造は弱含みとなり、総じてわが国経済は横ばいで推移しました。

当社グループにおきましては、プラスチック原料価格の全般的な下落基調に加え、主力の精密機器、家電・電子分野での減速が前年比減収の主要要因となりましたが、一方、成長分野としている中の医療資機材及び自動車部品関連で、伸長する需要への対応並びに新規案件の獲得が功を奏し、またホビー関連でも増収となりました。各種産業資材向け製品の国内製造子会社は引き続き好調を維持し、海外拠点は未だ本来の水準にまで戻っていないものの、第1四半期比では緩やかな回復基調で推移しました。また、当社環境施策の一環であるリサイクル原料の取扱いも、国内のリサイクル事業会社との戦略的な取組みを礎として注力を継続しております。

その結果、売上高は30,086百万円(前年同期比6.7%減)、営業利益は548百万円(同6.0%減)、経常利益は513百万円(同6.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は340百万円(同7.4%減)となりました。

今年度後半は、引き続き米中貿易協議等の行方が不透明であり、なおも慎重な見方が広がる中、当社グループは、成長分野での一層の拡大と、その他分野でも新規案件の獲得及び当社シェア向上を図り、通期見通しの達成を目指します。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は26,256百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,844百万円減少いたしました。この要因は、受取手形及び売掛金、商品及び製品並びに現金及び預金の減少等による流動資産の減少額1,856百万円によるものです。このうち、前連結会計年度末日が休日であったことを要因(以下「休日要因」という。)とする減少額が含まれております。

負債は前連結会計年度末に比べ1,946百万円減少し、15,815百万円となりました。この要因は、支払手形及び買掛金の減少並びに短期及び長期借入金の減少等によるものであり、休日要因による減少額は1,304百万円でありませ

なお、休日要因を除く資産・負債の減少は、減収による営業運転資金の減少がその主たる要因であります。

また、会計基準等の改正に伴う会計方針の変更により、有形固定資産の「リース資産(純額)」が75百万円、流動負債の「その他」及び固定負債の「その他」の合計額が76百万円、それぞれ増加しております。

純資産の部は利益剰余金の増加を主な要因として、前連結会計年度末より102百万円増加し10,440百万円となり、自己資本比率は39.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ561百万円減少し、2,875百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は192百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益516百万円、売上債権の減少862百万円並びにたな卸資産の減少145百万円による収入があった一方で、仕入債務の減少1,708百万円による支出並びに法人税等の支払193百万円による支出等があった結果によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は9百万円となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は322百万円となりました。これは、長期借入れによる収入250百万円があった一方で、短期借入金の返済による支出297百万円、長期借入金の返済による支出126百万円並びに配当金の支払額111百万円等があった結果によるものです。

なお、前連結会計年度末日が休日であったことに起因する影響を調整した場合の営業活動によるキャッシュ・フローは590百万円の資金の獲得となり、その結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は221百万円の増加になります。

当第2四半期連結会計期間末の金融機関からの借入金の総額は、短期借入金・長期借入金を合わせて4,746百万円であり、総資産金額26,256百万円に対して18.1%であります。また、有利子負債／株主資本の比率は0.52倍となっており、会社の財政の健全性は確保されていると判断しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月25日付「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,491,412	2,929,300
受取手形及び売掛金	14,859,748	13,828,591
電子記録債権	2,978,271	3,038,290
商品及び製品	3,164,119	2,965,557
仕掛品	22,025	20,311
原材料及び貯蔵品	30,577	43,007
その他	680,493	544,903
貸倒引当金	△2,895	△2,750
流動資産合計	25,223,753	23,367,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	651,961	652,585
減価償却累計額	△518,139	△524,714
建物及び構築物（純額）	133,822	127,870
機械装置及び運搬具	208,096	208,993
減価償却累計額	△181,842	△185,759
機械装置及び運搬具（純額）	26,253	23,233
工具、器具及び備品	157,785	163,434
減価償却累計額	△132,566	△137,689
工具、器具及び備品（純額）	25,219	25,744
土地	158,915	158,915
リース資産	65,007	171,746
減価償却累計額	△24,566	△50,344
リース資産（純額）	40,440	121,401
有形固定資産合計	384,652	457,166
無形固定資産		
リース資産	24,709	23,321
その他	56,403	51,858
無形固定資産合計	81,113	75,179
投資その他の資産		
投資有価証券	2,054,736	2,007,501
差入保証金	113,677	113,766
破産更生債権等	4,287	4,287
繰延税金資産	22,658	21,812
その他	222,047	215,669
貸倒引当金	△5,937	△6,012
投資その他の資産合計	2,411,470	2,357,024
固定資産合計	2,877,235	2,889,370
資産合計	28,100,988	26,256,582

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,264,370	9,492,448
短期借入金	4,140,600	3,799,267
1年内返済予定の長期借入金	191,000	533,000
未払法人税等	169,239	158,239
賞与引当金	116,880	96,424
その他	341,603	385,319
流動負債合計	16,223,693	14,464,699
固定負債		
長期借入金	632,000	414,000
役員退職慰労引当金	79,295	79,995
退職給付に係る負債	312,267	307,878
繰延税金負債	335,602	313,752
その他	179,625	235,522
固定負債合計	1,538,790	1,351,148
負債合計	17,762,484	15,815,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,050	793,050
資本剰余金	723,962	723,962
利益剰余金	7,695,410	7,924,974
自己株式	△1,011	△1,011
株主資本合計	9,211,410	9,440,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	832,693	795,933
繰延ヘッジ損益	△597	△134
為替換算調整勘定	294,996	203,960
その他の包括利益累計額合計	1,127,093	999,758
純資産合計	10,338,504	10,440,733
負債純資産合計	28,100,988	26,256,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	32,243,863	30,086,294
売上原価	30,221,268	28,150,785
売上総利益	2,022,595	1,935,509
販売費及び一般管理費		
運賃	164,840	150,604
役員報酬	64,570	70,800
給料	408,233	399,003
賞与	17,498	19,576
賞与引当金繰入額	107,165	81,221
退職給付費用	26,143	21,433
役員退職慰労引当金繰入額	7,350	4,200
福利厚生費	99,156	97,131
旅費及び交通費	57,611	46,936
賃借料	89,279	79,942
支払手数料	61,672	59,489
租税公課	36,225	31,069
減価償却費	31,451	49,509
貸倒引当金繰入額	402	—
その他	267,782	276,471
販売費及び一般管理費合計	1,439,383	1,387,390
営業利益	583,211	548,118
営業外収益		
受取利息	1,581	2,115
受取配当金	25,000	25,888
仕入割引	226	174
持分法による投資利益	5,328	583
その他	9,718	12,760
営業外収益合計	41,855	41,521
営業外費用		
支払利息	40,361	49,987
売上割引	6,442	6,756
為替差損	13,857	12,070
手形売却損	4,698	3,066
その他	11,550	4,617
営業外費用合計	76,911	76,498
経常利益	548,155	513,142

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	53	15
投資有価証券売却益	—	3,577
特別利益合計	53	3,592
特別損失		
固定資産除却損	258	33
会員権評価損	7,589	—
特別損失合計	7,848	33
税金等調整前四半期純利益	540,361	516,701
法人税等	172,430	176,009
四半期純利益	367,931	340,691
親会社株主に帰属する四半期純利益	367,931	340,691

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	367,931	340,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金(税引前)	79,081	△50,711
繰延ヘッジ損益(税引前)	11,327	644
為替換算調整勘定(税引前)	△112,500	△84,874
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,630	△6,162
その他の包括利益に係る税効果額	△26,540	13,768
その他の包括利益合計	△53,261	△127,334
四半期包括利益	314,670	213,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	314,670	213,357

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	540,361	516,701
減価償却費	47,119	60,322
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,852	△69
受取利息及び受取配当金	△26,582	△28,003
支払利息	40,361	49,987
為替差損益(△は益)	32	△88
持分法による投資損益(△は益)	△5,328	△583
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,577
固定資産売却損益(△は益)	△53	△15
固定資産除却損	258	33
会員権評価損	7,589	—
売上債権の増減額(△は増加)	△256,521	862,563
たな卸資産の増減額(△は増加)	△917,917	145,962
仕入債務の増減額(△は減少)	476,779	△1,708,553
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,668	△20,456
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△21,450	700
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,293	△4,388
その他	25,981	150,764
小計	△72,554	21,299
利息及び配当金の受取額	26,581	28,002
利息の支払額	△40,239	△48,531
法人税等の支払額	△199,629	△193,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	△285,842	△192,771
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△24,000	△24,000
定期預金の払戻による収入	24,000	24,000
有形固定資産の取得による支出	△37,345	△9,052
有形固定資産の売却による収入	53	15
無形固定資産の取得による支出	△5,563	△594
投資有価証券の取得による支出	△7,151	△6,794
投資有価証券の売却による収入	130	6,895
差入保証金の差入による支出	△9,136	△792
差入保証金の回収による収入	1,348	357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,664	△9,965
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	477,780	△297,621
長期借入れによる収入	250,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△126,000	△126,000
自己株式の取得による支出	△31	—
リース債務の返済による支出	△6,702	△31,191
配当金の支払額	△102,579	△111,127
その他	△14,188	△6,762
財務活動によるキャッシュ・フロー	478,277	△322,702
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34,687	△36,211
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	100,083	△561,651
現金及び現金同等物の期首残高	2,923,209	3,437,072
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,023,292	2,875,420

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産の「リース資産(純額)」が75,144千円増加し、流動負債の「その他」が43,623千円及び固定負債の「その他」が32,519千円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の事業は、合成樹脂関連商品の販売等並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。